



築 20 年のマンションの全面リノベーションをしました。

3LDKの間取りをLDKを広くとるために、2LDKに変更し、新たに4畳半の和室も作りました。

キッチンはオープンのため、美しく、かつたくさん収納できるように押し入れのような引き戸の収納を確保。オープンや冷蔵庫などの家電類も正面からは見えない場所に配置しています。

またキッチンとダイニングは近い位置ながらV字状に配置することで、適度な距離感を与え、かつ間取りにも変化を与えています。

和室はキッチン横に腰壁をへだててセミオープンな形をとっています。土間風通路から一段高い畳に腰かけてもよし、そのままごろんと横になって空を眺めるのもよし。通路の奥のライティングデスクは「孤立しない勉強スペース」にもなります。客間にも茶室にもなる畳ならではの多目的な和室です。

Renovation of 20 year old apartment. New plan is 2 bedrooms and larger Living/Dining/Kitchen space, and multi-use Japanese Tatami room.

Kitchen has large and organized storage with peninsula style system kitchen. Dining table is attached to 45° angled wall so that dining is comfortably separate from kitchen.

Japanese Tatami room is semi-open style with half wall. The Tatami mat space is 35cm high step floor and surrounded by small pathway. The end of the pathway there is a small writing desk. So you can study, sit, lie down, sleep or have a cup of tea on tatami room.



(写真左上) ペニンシュラ型のオープンキッチンは壁とキッチン正面に同じホワイトのモザイクタイルを張り、一体感を。後ろには引き戸の収納スペースをとり、その右はワークスペースにもなるカウンター。(写真右上) テーブルは壁を斜めにしてキッチンとV字状に配置。食事中にキッチンの雑多なものが視線に入らない。(写真左下) LDKとセミオープンで隣接する和室の収納は“浮いている押し”。(写真右上下) 和室の周りには土間の通路、その奥にはライティングデスクを造り付け